

事業所名

スマートキッズジュニア天神橋

支援プログラム

作成日

2025年

1月

11日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 ・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 ・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		11時0分から	20時0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・就労のための作業練習の組み立てや仕分け等の課題 ・災害時の対応を身に着ける課題 ・生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 		<ul style="list-style-type: none"> ・清潔への理解と習慣のための清掃活動(ぞうきんの使用、ほうきの掃き方、ロッカーやカバンの中の整理等) ・就労のための作業練習(道具の仕分け、部品の組み立て、清掃活動、刺繍) ・生活に必要なスキルと知識の習得のための調理活動 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時や課題実施時の姿勢保持の課題 ・身体全体の機能向上のための粗大運動(ストレッチ、筋トレ、サーキット運動等)の課題 ・指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 		<ul style="list-style-type: none"> ・模倣や体幹、粗大運動に関わる活動(体操、ダンス、ボール運動等) ・指先の感覚や操作に関わる活動(粘土、紙やぶき、箱の中身はなんだろう?等) ・指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・時計や数量についての理解に関わる課題 ・金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 ・特性における認知の偏りを緩和し、興味・関心の幅を広げる課題 		<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心の幅を広げるための活動(日本の文化に親しむ(二十四節気・正月遊び等)) ・金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) ・空間把握の認知形成に関わる活動(紙コップタワー、ブロック遊び等) 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題 ・人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わりの課題 ・文字や文章の読み書きの理解のための課題 		<ul style="list-style-type: none"> ・文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) ・PCでの文字入力・コミュニケーションの活動(タイピング練習、文字入力で伝えよう) ・口頭以外でのコミュニケーションの練習活動(ジェスチャーゲーム、手話、絵カード等) 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の感情理解やコントロールとしての切替・クールダウンに関する課題 ・適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題 ・集団への参加や集団での指示理解のための課題 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) ・注意・集中を目的とした活動(30秒チャレンジ、落とさず進めるかな等) ・集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 ・保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う ・学校、他事業所と利用者に対して支援対応を一貫するために、対応方法について定期的に連携を行う。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・各種関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有することで、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 ・担当の相談支援専門員と定期的に情報交換を行い、相談支援専門員を通して他事業所や学校等との連携を進める。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 ・心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、防犯等)、課外活動(ランチタイムコンサート、公園、)、調理活動(サンドイッチ、スイートポテト)、保護者会、その他				